

平成二十四年度特別展

播磨国風土記

いにしへの福崎地名探訪



主催 福崎町教育委員会
協力 福崎町立図書館応援隊(紙芝居グループ・対面朗読・録音図書グループ)
神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

神前郡

堅里

神前郡 考神前者神前大川之字也石数令与使村
在神前山乃因神在焉右故曰神前也
知主下所以考堅里者昔大
擔登而下行与不下展而速向此之要何能高干大
今日我不下展故行小比古登
争而行之速数日大世令云我不展也
此比古屋令嘆曰然吾亦概其屋於此里改考堅里之下
展之特小竹俾上其展行於火改考改自爾村其屋与展成
石于今不王一家云品太天皇之行特造言此里表云此云
堅耳故曰堅里 所以考生野者昔此家在生神三武津未
之人由此考元云 勅云此色思各改爲生野
此考堅里内者假有祖馬阿相殿粟田山流天故曰
川邊 里 因天名生野又有
湯川又在要必行 此邊里 考此山 湯川昔湯出此此故曰
邊里 所以考賢音品太天皇行於此里階度之切当於此
勢賢高里里 考此山 湯川昔湯出此此故曰
名星註 高里里 考此山 湯川昔湯出此此故曰
里前神山 考此山 湯川昔湯出此此故曰
下 所以考賢音品太天皇行於此里階度之切当於此
始何我乃古申 欲請此志尔時天皇勅云有請故曰
里音得和大神与天日神命二神 古申申爾爾介物大神之
軍集而春補之其村罷鳥云云 考此山 湯川昔湯出此此故曰

高里里

又馳里

蔭山里

的部里



平成24年10月20日(土)
~11月25日(日)

- 開館時間/9:00~16:30
- 休館日/月曜日、祝日の翌日
- 入館料/無料

福崎町立神崎郡歴史民俗資料館

〒679-2204 兵庫県神崎郡福崎町西田原1038-12 TEL・FAX (0790)22-5699 <http://www.rekimin.town.fukusaki.hyogo.jp/>

播磨国風土記

いにしへの福崎地名探訪

「播磨国風土記」神前郡条に登場する6つの里を中心に紹介

西暦2013年は、奈良時代の和銅6年(713)に朝廷より風土記の編集が命じられてから1300年目の年にあたります。

本展ではそれに先がけて、現存する5つの風土記のうちの1つである「播磨国風土記」の中の「神前郡」にスポットをあててご紹介します。「神前郡」は、当館のある福崎町が領域に含まれていました。

そこで、「神前郡」条に登場する6つの里とそれらにまつわる伝承などを展示し、柳田國男の兄である井上通泰の著した「播磨国風土記新考」などから、登場する比定地についても検証していきます。あわせて、出土した考古遺物からみえる、当時のようすについても紹介します。

また、古代の福崎のみならず、中世や近世・近代の福崎のようすも資料を通してご紹介し、福崎の変遷をより詳しく知っていただく機会とするものです。



1



2



3



4



5



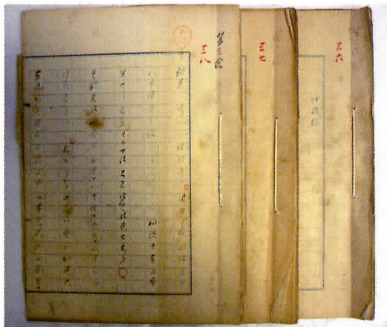
6



7



1 二条大路木簡(奈良文化財研究所蔵) 2~5 福井谷遺跡出土遺物(仏像/須恵器/鷗尾/土馬) 6 矢口遺跡出土遺物(帯金具) 7 文治遺跡出土遺物(人形)



「播磨国風土記新考」原稿
柳田國男・松岡家記念館蔵

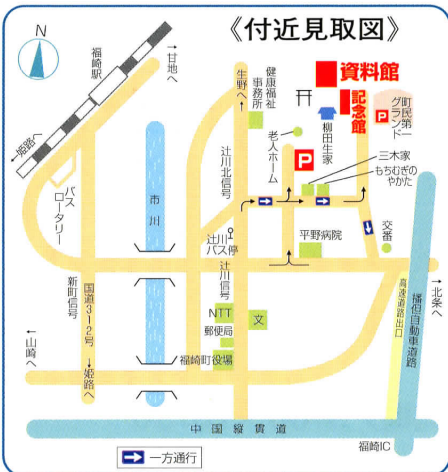
隣接施設のもよおし案内 福崎町立柳田國男・松岡家記念館特別展

「播磨国風土記 ～井上通泰の風土記研究～」

柳田國男の兄・井上通泰が新たな考えを示した『播磨国風土記新考』の執筆過程をたどり、通泰の風土記研究を紹介します。

また、通泰の直筆原稿や交流を深めた人々との書簡などを展示し、通泰の人物像もお伝えします。

- ・入館料 無料
- ・問い合わせ先 福崎町立柳田國男・松岡家記念館 TEL・FAX (0790) 22-1000



交通のしるし

- 電車** JR播但線「福崎駅」下車。徒歩約30分、またはタクシー。
- バス** 神姫バス粟賀行「辻川」バス停下車。
- 車** 播但自動車道・中国縦貫自動車道で福崎インターより約5分、または国道312号線を利用。

講演会のご案内

「ふるさとの地名が語る古代の神崎郡 ～井上通泰の播磨国風土記研究～」

場所：歴史民俗資料館2階
日時：平成24年11月17日(土) 13時00分～
講師：松下正和氏(近大姫路大学)

「井上通泰の業績と人となり」

場所：柳田國男・松岡家記念館2階
日時：平成24年11月18日(日) 13時30分～
講師：井上舞氏(神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター研究員)